



## 關係資料

## 1 根拠法令

### (1) 子どもの読書活動の推進に関する法律

#### (目的)

第1条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

#### (基本理念)

第2条 子ども（おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

#### (国の責務)

第3条 国は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

#### (地方公共団体の責務)

第4条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

#### (事業者の努力)

第5条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

#### (保護者の役割)

第6条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

#### (関係機関等との連携強化)

第7条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

#### (子ども読書活動推進基本計画)

第8条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県子ども読書活動推進計画等)

第9条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

(子ども読書の日)

第10条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、四月二十三日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日<sup>の趣旨</sup>にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

(財政上の措置等)

第11条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附則

この法律は、公布の日から施行する。

○ 衆議院文部科学委員会における附帯決議

政府は、本法施行に当たり、次の事項について配慮すべきである。

1 本法は、子どもの自主的な読書活動が推進されるよう必要な施策を講じて環境を整備していくものであり、行政が不当に干渉することのないようにすること。

2 民意を反映し、子ども読書活動推進基本計画を速やかに策定し、子どもの読書活動の推進に関する施策の確立とその具体化に努めること。

3 子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、本と親しみ、本を楽しむことができる環境づくりのため、学校図書館、公共図書館等の整備充実に努めること。

4 学校図書館、公共図書館等が図書を購入するに当たっては、その自主性を尊重すること。

5 子どもの健やかな成長に資する書籍等については、事業者がそれぞれの自主的判断に基づき提供に努めるようにすること。

6 国及び地方公共団体が実施する子ども読書の日<sup>の趣旨</sup>にふさわしい事業への子どもの参加については、その自主性を尊重すること。

※\_\_\_\_\_は、関係箇所を示すため、横須賀市教育委員会で記載したものです。

## 2 参考データ

### (1) 学校(園)数・児童生徒数(平成29年4月1日現在)

区分	学校・園数	児童生徒数
小学校	46	18,615
中学校	23	9,920
高等学校	1	1,175
ろう学校	1	16
養護学校	1	46
幼稚園	公立 2	84
	私立 31	4,917
保育園	公立 11	875
	私立 27	2,359
認定こども園	公立 —	—
	私立 11	1,562

※私立幼稚園：平成29年5月1日現在

### (2) 人口・世帯数・市域面積(平成29年4月1日推計人口)

[人口] 401,285人

[世帯数] 166,584世帯

[市域面積] 100.83km<sup>2</sup>

### 3 計画の検討体制

#### (1) 横須賀市子ども読書活動推進計画改定検討委員会

横須賀市子ども読書活動推進計画の改定検討を行う組織で、学識経験者、専門的知識を有する者、関係団体の代表者、公募市民、小中学校の校長で構成し、計画の内容を専門的、総合的に検討しました。

◎=委員長 ○=副委員長

	氏名	役職
◎1	千 錫烈	学識経験者 (関東学院大学社会学部 准教授)
2	新平 鎮博	専門的知識を有する者 (独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 情報・支援部 上席総括研究員)
3	川口 香世	子ども読書活動推進実践者 (よこすかおはなし会 ボランティア代表)
4	江間 徹郎	公募市民委員
5	川名 亘子	公募市民委員
○6	米持 薫	市立小学校校長会代表 (久里浜小学校校長)
7	一柳 直行	市立中学校校長会代表 (追浜中学校校長)

#### (2) 第3次子ども読書活動推進計画検討プロジェクト会議

子ども育成部及び教育委員会事務局の職員による庁内組織で、計画案などを検討しました。

## 横須賀市子ども読書活動推進計画改定検討委員会条例

### (設置)

第1条 子どもの読書活動の推進に関する法律（平成13年法律第154号）第9条第2項に規定する市町村子ども読書活動推進計画として策定された横須賀市子ども読書活動推進計画の改定に関し、教育委員会の諮問に応ずるため、本市に地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の4第3項の規定による附属機関として、横須賀市子ども読書活動推進計画改定検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

### (組織)

第2条 委員会は、委員7人以内をもって組織する。

2 委員は、市民、学識経験者、専門的知識を有する者、関係団体の代表者及び小中学校の校長のうちから教育委員会が委嘱する。

### (委員長等)

第3条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員が互選する。

2 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

### (会議)

第4条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 委員会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

### (委員以外の者の出席)

第5条 委員会において必要があるときは、関係者の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

### (その他の事項)

第6条 この条例に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の同意を得て委員長が定める。

### 附 則

#### (施行期日)

1 この条例は、平成29年4月1日から施行する。

#### (この条例の失効)

2 この条例は、平成30年3月31日限り、その効力を失う。

## 子ども読書活動推進計画改定検討プロジェクト会議設置要綱

### (設置)

第1条 子どもの読書活動の推進に関する法律（平成13年法律第154号）第8条第1項に規定する子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画として策定した横須賀市子ども読書活動推進計画の改定の検討を行うため、教育委員会事務局等事務分掌規則（平成10年教育委員会規則第3号）第23条の規定に基づき、庁内に子ども読書活動推進計画改定検討プロジェクト会議（以下「会議」という。）を設置する。

### (所掌事務)

第2条 会議は、横須賀市子ども読書活動推進計画の改定について検討を行い、計画案を作成する。

### (組織)

第3条 会議は、構成員7人以内をもって組織する。

2 構成員は、別表に掲げる課等の職員のうちから教育委員会が任命する。

### (会議のリーダー等)

第4条 会議にリーダー及びサブリーダーを置く。

2 リーダー及びサブリーダーは、教育委員会が指名する構成員をもって充てる。

3 リーダーは、会務を総理し、会議の議長となる。

4 リーダーに事故があるときは、サブリーダーがその職務を代理する。

### (会議)

第5条 会議は、リーダーが招集する。

2 会議は、必要に応じて構成員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

### (庶務)

第6条 会議の庶務は、中央図書館において行う。

### (その他の事項)

第7条 この要綱に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、リーダーが定める。

### 附 則

### (施行期日)

1 この要綱は、平成29年3月2日から施行する。

### (この要綱の失効)

2 この要綱は、平成30年3月31日限り、その効力を失う。

### 附 則

この要綱は、平成29年4月1日から施行する。

### 別表（第3条関係）

こども育成部教育・保育支援課 教育委員会事務局教育総務部総務課 同生涯学習課  
同中央図書館 同児童図書館 教育委員会事務局学校教育部教育指導課 同教育研究所

#### 4 計画の検討経過

##### (1) 検討スケジュール

平成28年	11月		児童生徒の読書実態調査実施
平成29年	3月	2日	第1回子ども読書活動推進計画改定検討プロジェクト会議
		30日	第2回子ども読書活動推進計画改定検討プロジェクト会議
	5月	24日	第3回子ども読書活動推進計画改定検討プロジェクト会議
	6月	2日	第1回子ども読書活動推進計画改定検討委員会
		21日	第4回子ども読書活動推進計画改定検討プロジェクト会議
	7月	12日	第5回子ども読書活動推進計画改定検討プロジェクト会議
		26日	第2回子ども読書活動推進計画改定検討委員会
	8月	25日	教育委員会定例会（8月） 報告
		31日	平成29年度第2回社会教育委員会議 報告
	9月	13日	平成29年市議会9月定例議会教育福祉常任委員会 報告
		20日	第6回子ども読書活動推進計画改定検討プロジェクト会議
	10月	12日	第7回子ども読書活動推進計画改定検討プロジェクト会議
		20日	第3回子ども読書活動推進計画改定検討委員会
	11月	17日	教育委員会定例会（11月） 報告
		28日～	「横須賀市市民パブリック・コメント手続条例」に基づき、「第
	12月	21日	3次横須賀市子ども読書活動推進計画」に対する市民意見募集